

オンライン連続講座

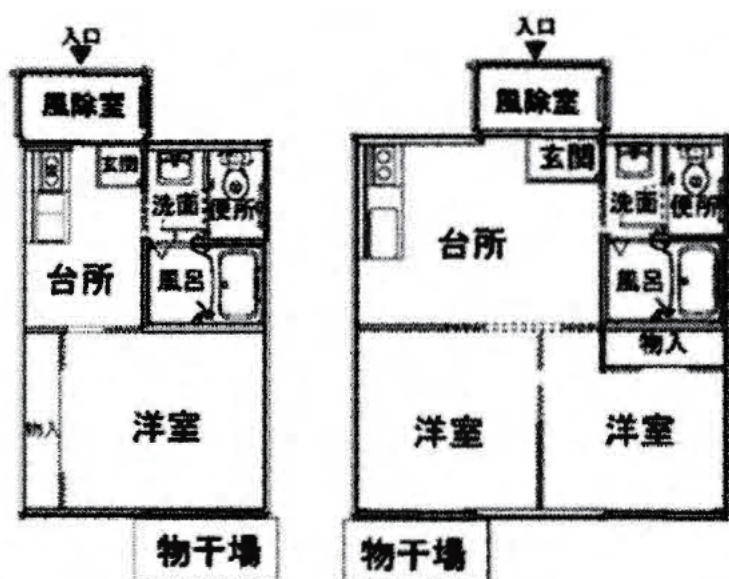
第1回「能登被災地の仮設住宅の実態」

講師：高林秀明さん（熊本学園大学教授）

日時：2025年7月29日（火）18:30～20:00

ミーティングID:608 220 1785

パスコード：20110311



1～2人用【20㎡】 2～4人用【30㎡】

図1 応急仮設住宅の参考プラン（4人以上【40㎡】は省略）
出所）石川県資料. <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kenju/saigai/r6oukyuukasetsujuutaku.ht>

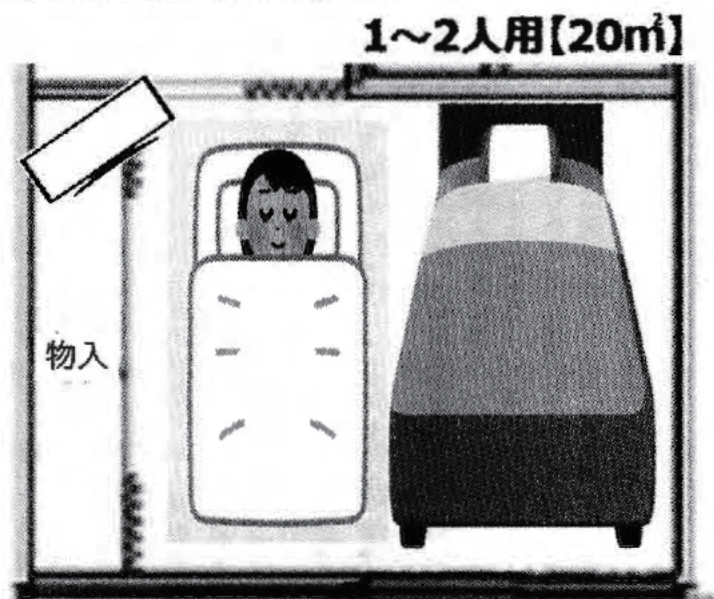


図2 ①布団を並べると物の置き場がない
4畳半2人暮らし（高林作成）

1年半が過ぎてなお、再建の道筋が見えてこない能登半島地震・豪雨被災地。中でも過酷なのは、一部の建設型仮設住宅における極端な過密居住です。

供給の大半を請け負うプレハブ建築協会が定めた仕様に縛られて、単身用住戸はわずか20㎡（6坪）。ところが石川県は2人居住を認めてしまいました。その結果、深刻な人権侵害状況が生じています。

しかも、供給戸数を優先するあまり、コミュニティを支える集会施設を作らなかった団地もあります。

発災後、継続して支援活動を行っている高林秀明さんに、現在の実態をお話いただきます。